Lubepeak株式会社 | 2026.11

kintone を活用した 開発サービス

基幹システムはそのままに、周辺業務をもっと効率的に

kintone・基幹システム連携開発サービス

cybozu Official Partner

cybozu Official Partner Consulting

cybozu Official Partner Product

Lubepeak

Contents

目次

Lubepeak

01 基幹システム連携の考え方
お悩み・考え方・連携方法・活用例 p.3

02 連携サービス
おもな連携サービス p.11

03 ご支援の流れ
お問い合わせから納品まで p.14

04 開発プラン
定額開発プラン／請負開発プラン p.16

05 KYOSOU データ連携 on データシンカー®
サービスの特長・パートナー認定 p.18

06 よくある質問
FAQ p.21

07 関連セミナー・関連コラム
セミナー情報・参考コラム p.23

© Lubepeak. Inc.

Lubepeak

01

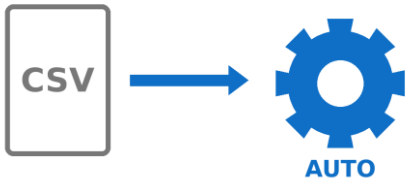
基幹システム連携の考え方

© Lubepeak. Inc.

こんなお悩み、ありませんか？

Lubepeak

基幹システムを使いながら、周辺業務をExcelやメールで管理していませんか？
データの二重入力や手作業の転記が、現場の負担になっています。

同じ情報を何度も 入力している	CSVの手作業での 加工・取り込みが負担	情報が分散し 確認・集計に時間がかかる
連携開発なら	連携開発なら	連携開発なら
		
基幹システムのデータを kintoneへ自動連携	CSV連携ツールで データ連携を自動化	データを一元化し 現場業務で活用

© Lubepeak. Inc.

基幹システムは置き換えず、kintoneと“共存”

Lubepeak

既存システムに蓄積されたデータを活かしながら、
案件管理・営業支援・申請承認などの周辺業務を効率化します。



01 基幹システムを大規模改修しない
出力されるCSVを活用して連携

02 業務に合う連携手段を選定
CSV・API・連携ツールなどから最適な方法を選択

03 設計・開発から運用までワンストップ
kintoneアプリと連携を一貫して構築

© Lubepeak. Inc.

連携の方法は一つではありません

Lubepeak

基幹システムとkintoneの連携方法は、業務の頻度や基幹の仕様によって異なります。
目的に合う手段を選ぶことが、無理のない連携の第一歩です。

CSV連携 kintone標準機能	API連携 個別開発	連携ツール・サービス データシンカー®／krewData など	ETL／EAIツール ASTERIA Warp など	RPA WinActor／UiPath など
仕組み 手作業でCSVを出力し、kintoneへ取り込む	**仕組み** プログラムでkintoneと基幹を自動連携	**仕組み** 設定でCSVの入出力などを自動化	**仕組み** 複数システムのデータ連携を一元管理	**仕組み** 画面操作を自動化して基幹へ登録
向いているケース 月次・週次など頻度が低い業務	**向いているケース** 複雑な条件分岐・データ加工	**向いているケース** 個別開発を抑えて自動化したい	**向いているケース** 複数システムをkintoneに集約	**向いているケース** APIやCSVが使えない場合
注意点 頻度が増えると手作業の負担が大きい	**注意点** 開発と保守が継続的に必要	**注意点** 製品ごとに対応範囲が異なる	**注意点** 設計・運用の費用がかかる	**注意点** 画面変更で停止しやすい

© Lubepeak. Inc.

kintone×基幹システム連携でできること

Lubepeak

基幹システムとkintoneの連携で、**大きく3つのこと**ができます。



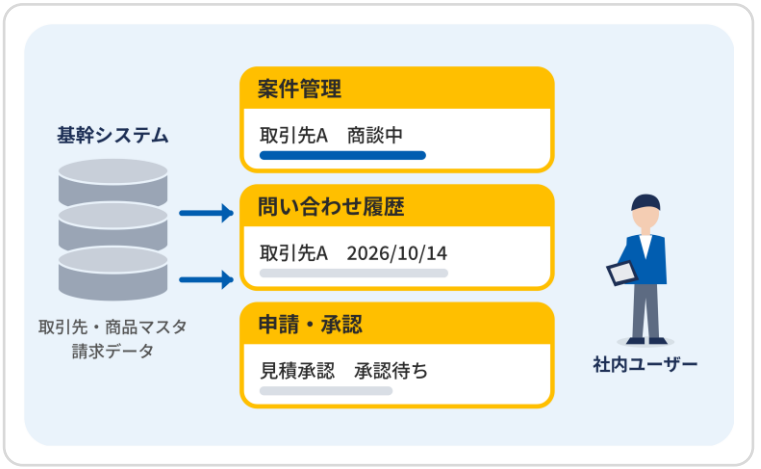
基幹システム → kintone

マスタ・受注・売上情報のCSVを自動連携。項目・更新条件を設計し、手作業を削減



kintone → 基幹システム

kintoneで承認した発注・申請情報を、基幹システムが取り込めるCSV形式で出力



周辺業務をkintoneで効率化

案件管理・営業支援・申請承認をkintoneでシステム化し、現場業務を効率化

© Lubepeak. Inc.

Example

効率化できる業務の例（1/3）

Lubepeak



活用例 01

受注情報を販売管理システムへ登録

- **現状**｜営業が紙・Excelの受注票に記入し、担当が販売管理へ手入力。進捗は電話で確認。
- **連携後**｜kintoneの受注アプリに入力すると、販売管理へ自動登録。
- **効果**｜転記作業と電話での確認が不要になる。



活用例 02

ERPの売上データをスマホで共有

- **現状**｜ERPのCSVをExcel加工してメール配信。アカウントのない社員は見られない。
- **連携後**｜ERPの売上をkintoneへ連携し、スマホから確認できる。
- **効果**｜外出先の営業も、スマホで売上を確認できる。

© Lubepeak. Inc.

効率化できる業務の例（2/3）

Lubepeak



活用例 03

マスタデータを使った案件管理

- 現状｜営業が案件・見積表へ毎回手入力。表記ゆれや古い単価が残る。
- 連携後｜マスタを日次で同期し、営業は選んで入力。実績はダッシュボードで集計。
- 効果｜実績をリアルタイムで見える化できる。



活用例 04

請求を会計システムへ連携

- 現状｜経理が案件情報を請求システムへ転記し、会計へ手入力。情報が途切れる。
- 連携後｜経理がkintoneの請求管理へ登録し、請求・入金データを会計と連携。
- 効果｜転記・Excel加工が減り、情報がつながる。

© Lubepeak. Inc.

効率化できる業務の例（3/3）

Lubepeak



活用例 05

見積を基幹システムへ反映

- 現状｜Excelをメールで上長へ送り、基幹へ手入力。承認状況が見えない。
- 連携後｜kintoneで見積を作成・承認し、見積データを基幹システムへ連携。
- 効果｜見積の転記がなくなり、承認状況も見える。



活用例 06

基幹システムのデータをAIで検索

- 現状｜営業が電話で担当部署へ問い合わせ。必要な情報がすぐ見つからない。
- 連携後｜案件・売上データを基幹システムと連携し、AIに質問して検索。
- 効果｜聞きたい情報がすぐに見つかる。

© Lubepeak. Inc.

02

連携サービス

© Lubepeak. Inc.

おもな連携サービス（1/2）

Lubepeak

CSV・データベースのデータ取り込みに使えるサービス

データシンカー®
提供：クラフテクス（有料）

特徴
CSVをkintoneへ自動登録。更新キーでの更新や、kintoneからのCSV出力にも対応。

注意点
CSVの出力方法・保存先や、Windows環境の設定が必要。

cli-kintone
提供：サイボウズ（無償）

特徴
コマンドでCSVの一括登録・更新・削除。タスクスケジューラで定期実行も可能。

注意点
日時の整形や削除の反映など、周辺処理は自社で構築が必要。

DBeaver
提供：DBeaver

特徴
各種データベースに接続し、SQL実行やCSV出力が可能。Enterprise版はCSVの定期出力に対応。

注意点
kintoneへの登録自動化は他ツールとの組み合わせが必要。

RPA
提供：各社

特徴
画面操作をロボットが代行。基幹システムからのCSV出力やkintoneへの取り込みを自動化できる。

注意点
画面の変更で動かなくなることがあり、保守が必要。

© Lubepeak. Inc.

おもな連携サービス（2/2）

Lubepeak

データ加工・複数サービスの連携に使えるサービス

krewData
提供：メシウス

特徴
ノーコードでデータの加工・集計や、クラウド上のCSV・Excelの入出力が可能。奉行クラウド連携も。

注意点
CSVの出力・アップロードは別途必要。重複登録や文字化けにも注意。



連携コネクタ
提供：サイボウズ

特徴
kintoneとMicrosoft 365をノーコードで連携。CSVを介したデータの登録・更新・出力を自動化。

注意点
スタンダードコース以上が対象。月間ステップ数に上限あり。

Yoom
提供：Yoom

特徴
複数のクラウドサービスをノーコードでつなぎ、kintoneとほかのSaaSの連携を自動化。

注意点
利用プランにより、実行回数などの上限がある。

ASTERIA Warp
提供：アステリア

特徴
kintone用アダプターでレコードの取得・登録・更新・削除に対応。複数システムの処理も組み合わせ可能。

注意点
データ構造を踏まえた設計が必要。構築・保守の費用がかかる場合も。

© Lubepeak. Inc.

Lubepeak

03

ご支援の流れ

© Lubepeak. Inc.

Flow

ご支援の流れ

Lubepeak

ヒアリングから見積提示まで**約1週間〜1ヶ月**、
ご発注後は**約2週間〜半年程度**でご納品が可能です。

01 初回面談
現在の業務課題や、連携の可否に関する疑問・不安にお答えします。

02 詳細ヒアリング
導入後のイメージを明確にし、「できること」「できないこと」を整理します。

03 お見積り
ご希望の予算に合わせて、構築役務およびライセンス費用を提出します。

04 ご契約
設計・開発をスタート。業務フローとデータ連携をさらに詳細化します。

05 開発
プロトタイプを複数回調整し、使えるシステムへブラッシュアップします。

06 動作テスト＆納品
動作確認後にご納品。運用開始後も追加のご契約でサポートします。

© Lubepeak. Inc.

Lubepeak

04

開発プラン

© Lubepeak. Inc.

開発プラン

Lubepeak

予算や開発規模に応じて、**2つのプラン**からお選びいただけます。

定額開発プラン

250,000円 / 20h（税抜）

- 必要な時間分を契約し、段階的に開発
- まずは一部の連携・業務改善から着手
- 効果を見ながら対象範囲を拡大

請負開発プラン

個別お見積り

- 開発範囲・費用を事前に確定
- あらかじめ合意した範囲を一度の見積で導入まで
- 規模の大きな連携にも対応

© Lubepeak. Inc.

Lubepeak

05



© Lubepeak. Inc.

KYOSOU データ連携 on データシンカー®の特長

Lubepeak

KYOSOU データ連携 on データシンカー®は、基幹システムのCSVを活用し、
データ連携の自動化からkintoneアプリ開発・運用までを一括で提供します。

01

初期費用10万円が無料。導入コストを抑えたデータ連携

データシンカー®の初期費用（通常10万円・税抜）が無料に。浮いた予算を、kintoneアプリの設計・開発に充てられます。

02

基幹システムを改修せず、CSVで自動連携

基幹システムのCSVを活用し、連携の設計からkintoneアプリ開発・運用まで一貫して支援します。

03

スモールスタートで、効果を見ながら拡大

「定額開発プラン」と「請負開発プラン」から選択。一部のデータ連携から着手し、対象範囲を段階的に広げられます。

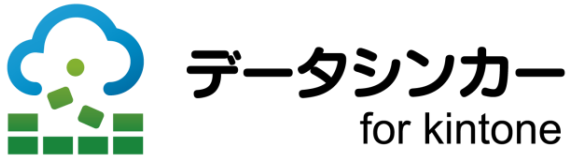
© Lubepeak. Inc.

プライムパートナーだからできること

Lubepeak

データシンカー® for kintone の**プライムパートナー**として、
連携の仕組みづくりからkintone開発まで**弊社がまとめて**ご提供します。

データシンカー® for kintone とは



基幹・業務システムから出力されるCSVをkintoneへ自動登録。PDFやメールなど、さまざまなデータをkintoneへ連携するサービスも展開しています。

基幹システム自体に大規模な改修を加えずに、kintoneとのデータ連携を構築する選択肢となります。

プライムパートナーだからできること

01 **データシンカー®の初期費用が無料**
通常10万円（税抜）の初期費用が無料に。コストを抑えて導入できます。

02 **メーカーと連携した導入・運用支援**
クラフテクスと密に連携し、導入から運用まで安心してご相談いただけます。

03 **連携設計からアプリ開発までワンストップ**
CSV連携の設計とkintoneアプリ開発を、窓口一本でお任せいただけます。

© Lubepeak. Inc.

Lubepeak

06

よくある質問

© Lubepeak. Inc.

よくある質問

Lubepeak

Q. 現在利用している基幹システムとkintoneを連携できますか？

はい。販売管理・生産管理・会計システムなど、さまざまな基幹システムとの連携に対応しています。既存システムの仕様に合わせて、CSVやAPIなどを活用した連携方法をご提案します。

Q. 基幹システムとkintoneの連携費用はどのくらいですか？

連携するシステムや開発範囲によって異なります。弊社では、個別見積もりの「請負開発プラン」と、25万円／20時間（税抜）の「定額開発プラン」をご用意しています。無料相談にてご要望を伺い、概算費用をご案内します。

Q. 既存の基幹システムを改修せずに連携できますか？

はい。CSVの入出力や既存APIなどを活用することで、基幹システムを改修せずに連携できる場合があります。現在のシステム環境を確認し、既存環境への影響をできるだけ抑えた連携方法をご提案します。

Q. 連携方法や要件が決まっていなくても相談できますか？

はい、可能です。現在の業務フローや課題をお伺いし、連携するデータやタイミング、CSV・APIなどの連携方法を整理します。技術的な仕様が分からない段階でもご相談いただけます。

Q. kintoneアプリの構築から基幹システムとの連携まで依頼できますか？

はい、対応可能です。kintoneアプリの設計・構築から基幹システムとのデータ連携、運用開始後の改善まで一貫して支援します。既存アプリへの連携や、一部の業務から段階的に導入することも可能です。

© Lubepeak. Inc.

07

関連セミナー・関連コラム

© Lubepeak. Inc.

関連セミナー（2027年2月19日（金）開催）

Lubepeak

kintone×基幹システム連携の勘所。
～実践事例から学ぶ、業務効率化とAI活用に向けた基盤づくり～



開催概要

日時：2月19日（金）15:00～18:00

会場：サイボウズ日本橋オフィス（東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー）

主催：Lubepeak株式会社、クラフテクス株式会社

後援：サイボウズ株式会社

お申し込みはこちら

□開催日時・プログラムの詳細は変更となる可能性があります。

© Lubepeak. Inc.

参考コラム

Lubepeak

基幹システムとkintoneの連携について、**コラムでも詳しく解説**しています。



kintoneと基幹システムを連携する方法5選｜活用例・選び方も解説

lubepeak.com/column/core-system-integration-guide



基幹システムのCSVをkintoneへ読み込む方法3選｜基本機能・cli-kintone・データシンカーを解説

lubepeak.com/column/core-system-import-to-kintone



DBeaverで基幹システムとkintoneを連携する方法｜CSV出力の手順・注意点を解説

lubepeak.com/column/kintone-dbeaver



kintoneとMicrosoft 365を連携｜サイボウズ連携コネクタでできること

lubepeak.com/column/cybozu-connector

© Lubepeak. Inc.

まずはお気軽にご相談ください

お見積りのご提示まで無料です。連携の可否の確認といった段階からご相談いただけます。

詳細：lubepeak.com/solutions/core-system-integration

© Lubepeak. Inc.